

## 2010 年度 WG3 の成果の概要

WG3( 要求分析講座の開発検討会 )で、2010 年度後半に要求分析講座に具備すべき内容の検討を行って、開発した成果の概要を以下に示します。

### 1 . 開発した成果物

- ( 1 ) 情報システム ( IS ) 系、経営情報 ( MIS ) 系、工学 ( SE ) 系、 3 つのシステム要求分析講座の構成
- ( 2 ) 上記 3 つの系および企業研修向けのシラバス事例

### 2 . システム要求分析講座の構成の内容

各講座の構成では、

( 1 ) その講座で取得する知識や技術の**視点 ( スコープ )**、情報システムの要求分析・設計の方法論、アプリケーションの枠組み、などの授業の**具体的な内容**、解決すべき問題を特定するために情報収集が必要であることを気づかせ、問題についているいろいろな解決案があること、及びその実現可能性を検討させる、などの**指導のポイント**、からなる**講座の仕様**

( 2 ) J07-IS カリキュラムでのラーニングユニット ( LU ) から選択したシステム要求分析講座に係る**主なラーニングユニット** ( 一部の LU は新規追加 )。選択に当たっては、必須、有用、前提知識の LU に分類

( 3 ) 情報システムの分析と論理設計の基本を学ぶために、例えば、演習を含む講義科目 : 2 つ、グループ実習を中心とした演習科目 : 1 つからなる**開講科目の提案**

からなる構成の提示を行っています。

### 3 . 情報システム ( IS ) 系、経営情報 ( MIS ) 系、工学 ( SE ) 系の 3 つの系および企業研修向けのシラバス事例

各系における大学でのシラバスの現状と、その講座体系の中に要求分析講座を組み込む場合の考え方、具体的なシラバス事例の提示を行っています。

本検討では、企業での研修への適用も考慮しており、その場合の適用の考え方、企業向けシラバス事例も提示しています。

成果報告会では、WG3 では何故、上記の 3 つの系を取り上げたかの考え方のほか、教育実践現場に応じた対処の仕方、成果物の読み方と利用の仕方、などのについても説明を行います。

本成果報告会の主な対象者は、要求分析に関連する講座を自大学等に適用を考えている教員、企業研修担当者、です。